

さつき園だより

令和五年度 第四号 社会福祉法人 日本へんけラー財団 さつき園・まつのき園・一步

〒599・0211 阪南市鳥取中9・1 TEL072・471・6868(さつき園)

【感謝・感謝】

令和六年三月三十一日をもちまして、社会福祉法人日本へんけラー財団さつき園・まつのき園は終了します。この言葉を何度お伝えしたかわかりません。言葉は事務的な要素も含まれますが、当法人が決めた事とはいえ、ようやく実感がわいたのはつい先日です。

現場で利用者さんとの関わりは、日常に変わりなく玄関での挨拶に始まり、作業される姿やドライブに出掛ける姿を目にします。創作で完成した作品を目にし、帰りの姿を見送ると一日が終わります。管理部門としてはそれ以外の仕事に追われますが、そんな中、新事業者と引継ぎをし、業者と会話する事で「あっ終わるのだな」と感じました。

平成十八年から始まったへんけラーの歴史は令和六年三月で終わります。多くの方に支えられ、失敗やチャレンジを繰り返す中、さつき園・まつのき園は皆様にとって必要とされ、愛されたのであれば幸いです。法人内の異動はその時々の状況によって配属がありますが、私も平成二十七年八月のタイミングで異動・配属となりました。ご縁がありこの事業に少しでも関わられたことを誇りに思います。

利用者さんの笑顔、ご家族との関わり、地域皆様との支えあい、さつき園・まつのき園で働く職員、多くの出会いがありました。表現は色々ありますが、私からの言葉は「感謝」とさせていただきます。今後続く新事業所も皆さまよろしくお願い致します。

今まで本当にありがとうございました。



打越 寛子



ご挨拶

淡路島を背景に大阪湾から吹きつける海風、季節ごとに色とりどりの姿を見せる和泉山脈、見事な田園風景に囲まれたさつき園でご利用者並びにご家族の皆様と過ごした日々は充実した毎日でした。五年間ありがとうございました。

大村心一

【生活介護】

あるご家族から「知識に無駄なものはないというお言葉を聞かせて頂いたことがあります。まさにその通りで、特に生活介護の現場では知識、すなわちスキル（技能）の幅広さが問われます。物作り・音楽・調理など、そこに無駄な物は一切なく全てはカリキュラムを通してご利用者へ還元することができるのです。

その最終の着地点はあくまでご利用者の生活を豊かにすることにありますが、有り難いことにその中でスタッフも一緒に成長させ

て頂いています。日本へんけラー財団としての運営は今年度終了となりますが、ご利用者の支援を通じて成長できる関係性にはこの先も変わりはありません。この素晴らしい環境が続いていくことを切に願うばかりです。

最後になりましたが、ご家族を始めこれまで生活介護に関わって下さった皆様、この誌面を借りて厚く御礼申し上げます。そして日本へんけラー財団がこの地に残した軌跡を時折思い出して頂けると幸いです。

折思ひ出して頂けると幸いです。

西岸 健太

ご挨拶



就労継続支援B型で三年、生活介護で四年、兼務として短期入所で六年、多くの方と関わることができたのは私にとって一生の宝物です。大学を卒業し、新卒として初めての配属となったさつき園、皆さんに助けられ、楽しませてもらった七年間でした。次の場所でもさつき園での経験を活かすことができました。ありがとうございます。

植山愛子

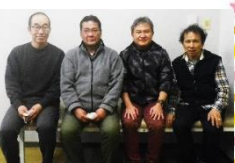
【就労継続支援B型】

さみしいお知らせとなりますが、この度私どもが運営する「就労継続支援B型さつき園」は今年の三月末で終了することとなりました。これまでの間ご利用いただいた皆さん、そして関わっていただいた皆様に心より感謝申し上げます。長い間、私どもと一緒に過ごしていただき、本当にありがとうございました。皆さんがここでの経験や成長を通じて得たものが、これからの人生においても輝かしいものになることを心より願っています。

運営の終了に伴い新たな未来に向けて皆さんが抱える課題や夢、目標に対してのサポートが継続できなくなることを心からお詫び申し上げます。しかし私どもは提供した支援が皆さんの人生の一部として、ポジティブな影響を与えてきたことと信じています。これから先もどんな状況におかれても、諦めず前向きに未来を切り拓いてください。新たなサービスマネジメントを活用しながら、自分の夢に向かって一歩ずつ進んでいってください。残り少ない時間ですが、私どもは最善を尽くしてサポートし、共に過ごす時間を大切にしていこうと思っております。何か不明点やご質問がありましたら、どうぞお気軽にお話しください。

最後になりますが、これまでの思い出や経験、そして新しい未来への期待を胸に、心からの感謝を込めてお別れの挨拶とさせていただきます。どうぞお元気で。そして、ありがとうございました。

山本卓



【まつのき園】

平成十八年四月、阪南市岬町の委託を受け、地域活動支援センターまつのき園、相談支援事業まつのき園がスタートしました。

地域で暮らす障がい者のなかには、積極的に地域社会とのつながりを持つことが難しく、孤立してしまう方もいます。地域活動支援センターはそのような方に対して日中の居場所づくりや生きがいづくり、日常生活での困りごとを相談できる機会の提供などをおこない、地域社会との交流を促進する役割を持っています。

とはいえ開所当初は、新しい事業が始まることで、周囲の戸惑いがあったり、行ったことのないところへ行くことへの抵抗感があったりと、多くの課題もありました。どうすれば、まつのき園のを知ってもらえるのか、心地よく利用してもらえるのか、試行錯誤する毎日でした。啓発活動などを通して、制度を知っていただき、利用者やご家族、関係機関の皆様を支えられ、少しずつ皆さんに居場所としての認知もしていただくようになりました。

「自宅ですと過ごしていた方が一歩外に出るきっかけとなり社会と繋がることのできたり、しんどい時にまつのき園へ来て良かった、気持ちが楽になったと言っていたら、少しでも力になれたのかなと実感することも多くなりました。そのことが私たちの励みにもなりました。

私たちが開設当初から大切にしていることは、ご利用者の思いを丁寧に聞き、実現するためにどうすればいいかを一緒に考え、必要に応じて情報提供や関係機関へ繋ぐことです。地域で生活する皆さんが、自分らしく暮らせる



るお手伝いができるよう、関係機関との連携も行ってきました。ご利用していただいた皆さんの気持ちが少しでも軽くなってもらえたら、嬉しいなと常々思っています。

この三月で社会福祉法人日本ヘレンケラー財団まつのき園は九十八年を迎えます。〇歳だった子が成人になる年です。長いようで短く、また短いようで長い十八年でした。多くのことはできませんでしたが、それでも地域で生活する皆さんのために何ができるかを考え続け、走り続けた十八年でした。そしてなにより、皆様に支えられ成長させていただいた十八年でもありました。当法人のまつのき園は令和六年三月三十一日で終了いたしますが、まつのき園はこれからも続いていきます。新しくなるまつのき園も皆様の心のよりどころでありますようお願いしています。本当にありがとうございました。

中川友紀



【販売】

山中溪の桜まつりに始まり、春・秋のお彼岸の泉南メモリアルパーク、各地域の公民館祭り、コロナが収まり、鳥取東中学校の生徒さんが販売のお手伝いをしてくれる久しぶりのさわやかふれあいデー、初めての参加でまちなか散歩、鳥取神社での縁起ものの福飴販売は最終日には完売となりました。里海まつりでは、強風と販売時間が四時間の中でしたが、いつも人気の綿あめが、一八九本の売り上げがありました。今年度、最後のボランティアフェスティバルにも参加することが出来ました。販売を通じて地域の方々とのふれあいを持つこともできました。ご家族様や利用者さんにはこれまで販売にご協力頂きまして有難うございました。

恒吉 恵美子

【まつのき講座】

令和六年三月一日（金）まつのき講座を開催しました。

テーマは「発達障がいの概要から家族支援と薬の概要まで」サブテーマとして「トラウマインフォームドケアを知れば当事者も支援者も楽になれる」という内容に沿って講師の先生に講義をしていただきました。講師の先生として、NPO法人精神医療サポートセン



ター 訪問看護ステーション「いしずえ」の代表理事である田邊友也さんに来ていただきました。

当日は沢山の方が参加され、当事者の方からは、「こんな風に考えると、楽になれるのですね」「長年もちやしていたことが、先生の話聞いてスッキリしました」「支援者からは、「支援の仕方を改めて考えさせられました」「知らない間に、当事者を追い詰めていたのかもしれない…」など、様々な感想をいただくことができました。

地域の方への障がいの理解や啓発の為に、長年開催してきた講座ですが、参加者の方だけでなく、職員一同も充実した時間を過ごさせていただきました。有り難うございました。当法人「まつのき園」としての講座は、これで最後となりますが、新しい「まつのき園」は続いていきますので、今後もよろしくお願ひ致します。

西村裕美子

【ありがとういけらまつたー！】

寄付・寄贈

（令和五年十二月二十九日～令和六年二月二十日）

中村様（緑ヶ丘） 泉井様
阿形様 玉置様 斎藤様
山下様



毎月、廃品回収にたくさんのお協力を頂きまして、ありがとうございます。

皆様の温かい心遣いを感じ、職員一同嬉しく思っております。

廃品の回収は、三月二十二日で終了とさせていただきます。